



日・EU 経済連携協定が意味するものは何か：新たなメ  
ガ FTA への挑戦と課題 / 長部重康編著  
ミネルヴァ書房, 2016.12

本 館 K/678.3/O72  
神田分館 678.3/O72



## 経済学部 准教授 小川 健 Takeshi Ogawa

自由貿易を目的とした協定がもたらす影響は大きいものがあるが、日本と EU (欧州連合) の EPA (経済連携協定) は太平洋の周りでの自由貿易を狙う TPP と同程度以上に大きな影響がありながら、その存在は (TPP とは大きく異なり) 2017 年 (平成 29 年) 7 月締結時の報道を除いて殆ど知られていない。

この本は最終合意前の発刊なので内容が必ずしも最新とはいえないが、2017 年 (平成 29 年) 11 月現在で、日本語でその内容を学べる事実上唯一の論文集と言っても良い。EU は色々な取り決めが厳しく、そのルールの多さは UK (イギリス) の EU 離脱の原因の 1 つとなった。その反面、例えば遺伝子組み換え食品に関するルール等も日本より厳しく、食品の安全性であれば実は日本産より EU 産の方がルールの厳格さからすれば安全である、という事等も殆ど知られていない。そうした EU は既にカナダとの FTA (自由貿易協定) を結んでいて、日本と EU が結ぶことで EU は自由貿易協定の要となりつつある。TPP から抜けた USA (アメリカ合衆国) ・トランプ政権から FTA (自由貿易協定) の締結要求をされる際に、USA の都合で追加要求される事項に対しても、日本単独では強く交渉できない場合でも、EU との関係性を盾に無茶な要求をのむ必要が無くなる。WTO (世界貿易機関) では進展がおぼつかなくなった自由貿易の流れに対し、経済的な要の間で結ばれる影響はいい面も悪い面も含めて生活にも大きく影響するので知る価値がある。

